

■日時 令和4年8月15日(月) ■天候 曇り

天理高校 対 東京都立穂ヶ丘高校

■球場 明治神宮野球場 第2試合 1回戦

■試合時間 2時間03分 ■備考 5回コールド

■審判 球審:栗村 塁審:竹本 小田 清水

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5										計	安	失
天理	東近畿1・奈良	1	0	10	3	0										14	11	2
穂ヶ丘	東京2	0	0	3	1	0										4	4	2

天理

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	3	4	5						
1	左	矢部 理澄	4	2	1	4	三振	三ゴ	中本		投失							
2	三	高尾 昂志	0	0	0	0												
1	遊	溝淵 貴太	3	3	1	0	二失	三ゴ	二安		四球							
3	中	片山 陽平	3	2	2	1	左安		左安	四球	二ゴ							
4	投 右	有本 義人	4	1	2	3	中安		遊ゴ	遊安	中飛							
5	右	小西 健太	4	1	2	2	右飛		右3	左2	三振							
5	投	田中 大海	0	0	0	0												
6	捕	舩越 功	2	1	0	0	左飛		四球	四球		二飛						
7	一	永井 陽喜	3	1	0	0		三振	死球	中飛		三ゴ						
8	三 左	堀田 仁	4	1	2	2		中安	中安	三ゴ		遊ゴ						
9	二	丸木 聖悟	1	2	1	0		四球	四球		中安							
合計			28	14	11	12	残塁:6		併殺:0									
備考																		

■バッテリー

投手	捕手
有本 義人	舩越 功
田中 大海	

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責	投球数
有本 義人	3	16	2	4	4	0	72
田中 大海	2	9	2	2	0	1	28

穂ヶ丘

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5							
1	中	丸山 拓己	2	2	1	0	投飛		四球	左安								
2	三	平井 和也	2	1	2	1	左3		四球	左安								
3	遊 投	児玉 生懸	3	0	0	0	三ゴ		二ゴ	遊飛								
4	捕	小松 優	2	1	0	0	三振		四球		右飛							
5	投 遊	沖倉 夕真	3	0	1	0		中安	三振		遊失							
6	一	仲村 武蔵	3	0	0	0		三振	左失		一飛							
7	左	田中 宏樹	3	0	0	0		三振	二飛		三振							
8	右	手嶋 擧斗	1	0	0	0		四球		三振								
9	二	橋本 祥羽	2	0	0	0		捕邪		一ゴ								
合計			21	4	4	1	残塁:6		併殺:0									
備考																		

■バッテリー

投手	捕手
沖倉 夕真	小松 優
児玉 生懸	

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責	投球数
沖倉 夕真	2	1/3	23	10	2	5	10
児玉 生懸	2	2/3	12	1	1	2	0

■戦評

大会1日目、明治神宮野球場の第2試合は1回戦、35大会連続40回目出場の前回大会優勝東近畿地区第1代表天理高校と6年ぶり2回目出場の東京都第2代表東京都立穂ヶ丘高校の対戦となった。天理は初回到敵失と安打から4番有本のタイムリーで先制。3回には四死球と長短打を絡め追加点を重ねる。その後も1番矢部が一死満塁からランニング本塁打を放つなどこの回10点を奪う。その裏粘る穂ヶ丘は四死球で一死満塁のチャンスを作ると6番仲村の大飛球がレフトの落球を誘い3点を奪い返した。天理は4回安打と敵失から無死満塁のチャンスを作ると穂ヶ丘のバッテリーミスから2点を追加しその後も内野ゴロの間に1点を追加した。その裏穂ヶ丘も1・2番の連打で1点を奪い返すも反撃はここまで。初回から優位な試合展開を作った天理が5回コールド14-4で勝利を取めた。粘りを見せた穂ヶ丘は3回の大量失点が悔やまれる結果となった。